

製品名: KDM1A ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21525**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:93kD;Observed MW:110kD

抗原情報

遺伝子名	KDM1A
別名	Lysine-specific histone demethylase 1A;BRAF35-HDAC complex protein BHC110;Flavin-containing amine oxidase domain-containing protein 2;
遺伝子 ID	23028.0
SwissProt ID	O60341
免疫原	ヒト KDM1/LSD1 の合成ペプチド

背景

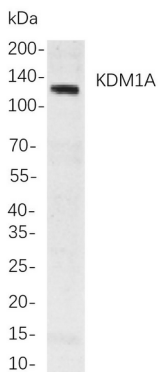
細胞局在: 核。この遺伝子は、SWIRM ドメイン、FAD 結合モチーフ、およびアミンオキシダーゼドメインを含む核タンパク質を

コードしています。このタンパク質は、いくつかのヒストン脱アセチル化酵素複合体の構成要素ですが、ヒストン脱メチル化酵素として機能することで遺伝子発現を抑制します。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2009年4月]

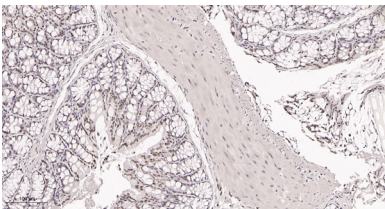
研究分野

-

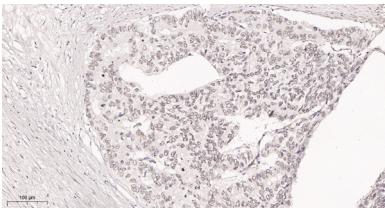
画像データ



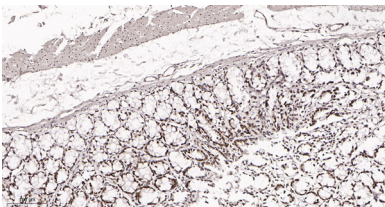
C6細胞ライセートのウェスタンブロット解析 (KDM1A ウサギ mAb 使用)。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を使用した。



パラフィン包埋マウス結腸組織の免疫組織化学分析。1、KDM1A ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。



パラフィン包埋前立腺組織の免疫組織化学分析。1、KDM1A ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈した (4°C、一晚)。2、抗体の回復には EDTA pH 9.0 を使用した (>98°C、20分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30分)。



パラフィン包埋ラット結腸組織の免疫組織化学分析。1、KDM1A ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈した (4°C、一晚)。2、抗体の回復には EDTA pH 9.0 を使用した (>98°C、20分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30分)。